

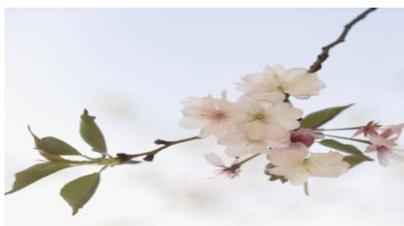
映画鑑賞会 「ベルリン・天使の詩」

2月23日(火) 図書館友の会として初めての試みで、図書館の出でくる映画を視聴覚室の大きなスクリーンで鑑賞しよう!という目的で「ベルリン・天使の詩」を観ました。普段参加されない会員の方や会員のご家族の方の参加があり、映画終了後の交流会にて友の会のホームページについて話が盛りあがりました。

1989年公開 フランス・西ドイツ合作 フィム・フィンダー監督

イギリスのロックバンド、ザ・キュアーの曲「天使の囁き」から得た、天使を主人公とした映画というヴェンダースのアイデアは、名匠アンリ・アルカンの幻惑的な映像美と、ヴェンダースの長年の協力者ペーター・ハントケによる難解で詩的なダイアログによって、荘厳さを持った作品に仕上がった。世界中で大ヒットを記録し、ハリウッドでリメイクまで作られた。全編を覆う詩のような語り、台詞。重厚な音楽、耽美な映像、前衛的なカメラワーク全てが美しい。この作品の続編に『時の翼にのって/ファラウェイ・ソークロス』がある。

あらすじは守護天使ダミエル(ブルーノ・ガンツ)は、長い歴史を天使として見届け、人間のあらゆるドラマを寄り添うように見守った。だが親友カシエル(オットー・サンダー)に永遠の生命を放棄し、人間になりたい、と打ち明ける。やがてサーカスの舞姫マリオン(ソルヴェーグ・ドマルタン)に想いを寄せるダミエルはついに「壁」を境に東西に隔てられた街・「ベルリン」に降り立った…(ウィキペディアから引用)



今月の友の会デーは 4月24日(土) 13:30~

《館長を囲む会》

浦安市立図書館長 森田正己氏にお話しをうかがいます。

冬のお楽しみ会

1月22日(金)18時から視聴覚室で図書館司書の方と友の会メンバーとの交流会がありました。最初森田館長の挨拶、友の会会長の挨拶、副館長の乾杯の音頭で和やかな雰囲気が始まりました。参加者は50名くらいでお子様の参加も8名ありました。

参加者が自己紹介や近況などを話したり、それぞれ皆で持ち寄ったバザーを楽しみました。終盤には会員の吉橋さんが日本の昔話より「干支のおこり」を朗読、そして司書の大宮係長がろうそくに火を灯して、ロシアの昔話より「まめたろう」をお話してくださいました。お茶を飲みながら美味しい軽食も食べ身も心も満腹になりました。



「子どもの本の読書会」(第8回)

第8回読書会(1月20日)のテキストは『長くつ下のピッピ』アストリッド・リンドグレン作、大塚雄三訳(岩波少年文庫)でした。

母を幼いころに亡くし、船長の父をも嵐の海に失ったピッピですが、明るくたくましく生きる世界一強い女の子です。父と共に航海していた船と別れ、猿のネルソン氏と金貨のいっぱい詰まったカバンを持って、父が以前から買っておいた家(スウェーデンの小さい町はずれの古い庭のある古い家)にひとり住むことになりました。

ものすごく力があって馬を一頭丸ごと持ち上げられるたくましい女の子の日常と冒険が展開されます。ピッピの日常は普通の女の子よりは型破りです。大人たちの心配をよそに、天使の母と黒人の王様が親で、父が迎えに来ると信じているピッピはおおらかに自由奔放に自分の頭と力で毎日をいきいきと楽しんでいます。

あこがれのピッピに出会ってわたし、「世界一強い女の子」になった気分!(F)



「子どもの本の読書会」(第9回)

第9回読書会(3月17日)のテキストは『日本の昔話①』(福音館書店)、おざわとしお再話、赤羽末吉画でした。全5巻のなかの一巻です。日本の昔話301話を四季にしたがって5巻にわけてあります。この第一巻は正月から春を感じさせる話を中心です。

私の昔話の原点は父でした。幼少のころ父は毎夜のように寝物語に昔話を聞かせてくれたものです。寝床に着くのが楽しみでしたが、話に夢中になって眠気も忘れ父を困らせたものでした。

あらためてテキストを読んで、日本の自然の中に住む人間と動物、妖怪とのかかわりを、かれらと同じ目線で楽しんでいるじぶんを発見し興味深深でした。

図書館員の伊藤さんが『猿媧』をおはなししてくださいました。感動でした。(S)



「しおりづくり」のお手伝いをしました

3月26日(金)「春休み子ども体験教室」文化会館集会室に友の会のメンバー(岩下・小崎・吉橋・舟田)4名が「しおりづくり」のお手伝いに参加しました。前半は図書館司書の読み聞かせ、後半から「しおりづくり」があり、沢山のお子様に参加され楽しかったです。



中央図書館の消防訓練に参加して

2月26日、中央図書館で消防訓練が行われ、友の会から会員2名が参加した。

一般開架室で待機しているとサイレンが鳴り、数秒後に「地下閉架室から出火、館員の指示に従い、落ち着いて館外に避難してください。」という放送が流れた。拡声器を持った館員の後に続き、正面玄関から避難した。避難する際には、誘導する館員が、「安心してください。」と私たちに何度も声をかけ、本番さながらにテキパキと行動する姿が印象的だった。

一同が図書館裏側に集まると、消防団員から当日の訓練についての感想が述べられた。年々避難誘導が向上していて、今年もスムーズで注意すべき点が何もないというお話だった。

訓練に参加して、図書館は書籍等の燃えやすいものが詰まった建物だからこそ、日頃の訓練が特に重要なんだと強く実感した。(E)





お知らせ

会員の佐藤和彦さんを中心に浦安市図書館友の会のホームページを製作中です。
みなさんのご意見、ご希望、ご協力をよろしくお願い致します。

これからの友の会

4月24日(土) 13:30~ 第一集会室

「館長を囲む会」

森田館長にこれからの浦安市立図書館についてお聞きします

5月19日(水) 10:00~ 第一集会室

読書会「ライオンと魔女」 岩波少年文庫

5月22日(土) 13:00~16:00 視聴覚室

13:00~ 浦安市図書館友の会総会

14:00~ 記念講演

講師 座間直壮(ざまなおよし)氏

プロフィール

調布市中央図書館長を経て「NPO 共同保存図書館・多摩」理事長、
白百合女子大学教員。

ブログができました

http://blog.goo.ne.jp/tosho_2007 お気に入りに登録して、沢山書き込みしてください。

問い合わせ先：浦安市図書館友の会 舟田園子

http://blog.goo.ne.jp/tosho_2007

047-352-2486

〈編集担当：奥 祥子〉